

県民の暮らし優先、利便性向上へ 東武東上線の増発・増便を要望



議連幹事として要望書を提出する神山県議（左）と東武鉄道東上業務部長 日置岳人氏（右）

「県議会東武東上線利便性向上促進議員連盟」は平成22年12月6日、東武鉄道株式会社に対し東武東上線の利便性を求める要望書を提出しました。

要望は沿線利用者からの意見等をまとめたもので、急行電車から普通電車への乗り換えの改善をはじめ、増発・増便など一層の利便性向上を求めた内容（全8項目）となっています。

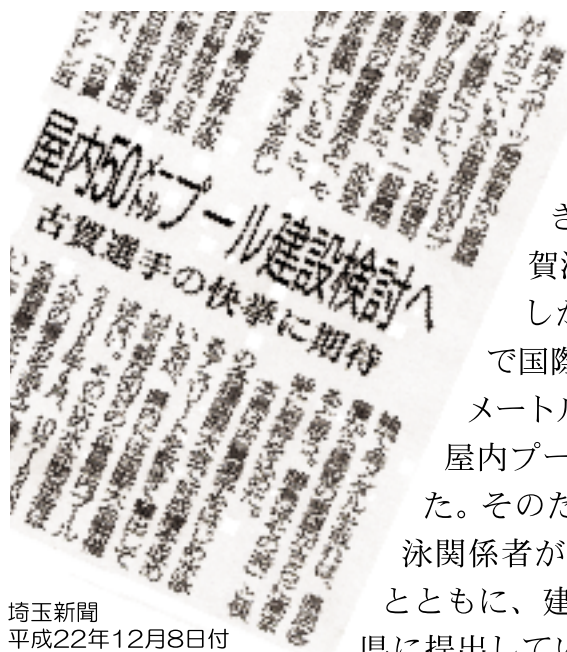
神山県議は同議連の幹事として先頭に立ち、東京地下鉄副都心線の相互直通運転の実現など、同鉄道の利便性向上に取り組んできました。今後もさまざまな課題に取り組んで参ります。

県内で国際大会が開催できる 屋内50mプールの建設を検討へ

12月定例県議会で上田知事は一般質問に答え、国際大会の開催が可能な50メートルコースのある公営屋内プールの建設について、検討していく考えを示しました。

本県は、2009年の世界水泳選手権（イタリア）男子100m背泳ぎで日本新記録（52秒26）をマークし優勝した熊谷市出身の古賀淳也選手をはじめ、優秀な水泳選手を数多く輩出しています。

しかし、県内にはこれまで国際大会が開催できる50メートルコースを有する公営屋内プールはありませんでした。そのため、平成20年には水泳関係者が10万人をこえる署名とともに、建設を求める要望書を県に提出していました。



埼玉新聞
平成22年12月8日付

神山県議は富士見市体育協会会長として、競技力向上のほか、水泳を通じた県民の健康増進などを願い、建設実現に向け取り組んでいく考えです。

埼玉県議会議員 神山 佐市 <Kamiyama Saichi>

監査委員／警察危機管理防災委員／少子・高齢福祉社会対策特別委員／図書室委員

※神山佐市の政策や実績など、詳しくはホームページをご覧ください。

URL <http://www.kamiyama.ne.jp>